

平成 28 年度第 12 回治験審査委員会開催記録の概要

開催年月日	平成 29 年 3 月 8 日（水）16：09～18：47
開催場所	2 階応接室
出席者	吉村副院長、松原管理局長、成田副院長、藤井総務部長、村山検査部長、津田消化器内科部長、松本薬剤部長、柴田薬剤部次長、中村検査技師長、副島放射線部長、納看護部次長、根来医師、浜田弁護士（外部委員）

	【新規・変更・その他】
審議案件	<p>①研究名：第一三共(株)の依頼による第 I 相試験</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・審議内容：治験を実施することの妥当性について審議した。</li> <li>・判定：修正の上承認（説明同意文書を修正すること）</li> </ul> <p>②研究名：(株)メディサイエンスプランニング（治験国内管理人）の依頼による進行または転移性胃癌（GC）の患者を対象とした Apatinib の第Ⅲ相試験</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・審議内容：治験を実施することの妥当性について審議した。</li> <li>・判定：修正の上承認（説明同意文書を修正すること）</li> </ul> <p>③研究名：ファイザー(株)の依頼による非小細胞肺癌患者を対象とする PF-06463922（LORLATINIB）の第Ⅲ試験</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・審議内容：治験を実施することの妥当性について審議した。</li> <li>・判定：修正の上承認（説明同意文書を修正すること）</li> </ul> <p>④研究名：アストラゼネカ(株)の依頼による卵巣がん患者を対象としたオラパリブの拡大治験</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・審議内容：治験を実施することの妥当性について審議した。</li> <li>・判定：修正の上承認（説明同意文書を修正すること）</li> </ul> <p>⑤研究名：中外製薬(株)の依頼による肺癌患者を対象とした CH5424802 の第Ⅲ相試験</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・審議内容：治験実施状況報告書（2017/2/9 日付）に基づき、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。</li> <li>・判定：承認</li> </ul> <p>⑥研究名：中外製薬(株)の依頼による非小細胞肺癌患者を対象とした MPDL3280A の第Ⅲ相試験</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・審議内容：治験実施状況報告書（2017/2/6 日付）に基づき、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。</li> <li>・判定：承認</li> </ul>

審 議 案 件	<p>⑦研究名：中外製薬㈱の依頼による非小細胞肺癌患者を対象とした MPDL3280A の第Ⅲ相試験</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・審議内容：治験実施計画書、説明同意文書、治験薬概要書、治験参加カードの変更に基づき、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。</li> <li>・判定：承認</li> </ul> <p>⑧研究名：アストラゼネカ㈱の依頼による局所進行又は転移性非小細胞肺癌患者を対象とした AZD9291 の第Ⅱ相試験</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・審議内容：治験薬概要書の変更に基づき、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。</li> <li>・判定：承認</li> </ul> <p>⑨研究名：エーザイ㈱の依頼によるレンバチニブ（E7080）の第Ⅱ相試験</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・審議内容：治験終了報告書（2017/2/14日付）に基づき、治験が終了したことが報告された。</li> </ul> <p>⑩研究名：ノバルティスファーマ株式会社の依頼による非小細胞肺癌成人患者を対象とした INC280 の第Ⅱ相試験</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・審議内容：治験薬概要書の変更に基づき、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。</li> <li>・判定：承認</li> </ul> <p>⑪研究名：ノバルティスファーマ株式会社の依頼による第Ⅰ/Ⅱ相試験</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・審議内容：治験終了報告書（2017/2/23日付）に基づき、治験が終了したことが報告された。</li> </ul> <p>⑫研究名：小野薬品工業株式会社の依頼による小細胞肺癌患者を対象とした ONO-4538/BMS-936558 の第Ⅲ相試験</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・審議内容：治験薬概要書の変更に基づき、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。</li> <li>・判定：承認</li> </ul> <p>⑬研究名：ファイザー株式会社の依頼による第Ⅰ/Ⅱ相試験</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・審議内容：その他(患者服薬日誌)の変更に基づき、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。</li> <li>・判定：承認</li> </ul> <p>⑭研究名：RET 融合遺伝子を有する進行非小細胞肺癌患者を対象とした CH5424802 の第Ⅰ/</p>
------------------	---

II 相臨床試験(ALL-RET)

・ 審議内容：モニタリング報告書（2017/2/27 日付）に基づき、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。

・ 判 定：承認

⑮ 研 究 名：ノバルティスファーマ株式会社の依頼による非小細胞肺癌成人患者を対象とした INC280 の第 1b/II 相試験

・ 審議内容：治験薬概要書の変更にに基づき、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。

・ 判 定：承認

⑯ 研 究 名：ノバルティスファーマ株式会社の依頼による非小細胞肺癌成人患者を対象とした INC280 の第 1b/II 相試験

・ 審議内容：治験実施状況報告書（2017/2/14 日付）に基づき、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。

・ 判 定：承認

⑰ 研 究 名：ONO4538 の第 II 相（医師主導治験）

・ 審議内容：モニタリングレポート（2017/1/31 日付）に基づき、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。

・ 判 定：承認

⑱ 研 究 名：ONO4538 の第 II 相（医師主導治験）

・ 審議内容：モニタリング報告書（2017/2/14 日付）に基づき、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。

・ 判 定：承認

⑲ 研 究 名：MSD 株式会社の依頼による第 I 相臨床試験

・ 審議内容：治験実施計画書、同意説明文書、その他（Protocol Clarification Letter）治験参加カード、キルトリーダー添付文書）の変更にに基づき、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。

・ 判 定：承認

⑳ 研 究 名：小野薬品工業(株)の依頼による胃がん患者を対象とした ONO-4538 の第 III 相試験

・ 審議内容：治験薬概要書の変更にに基づき、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。

・判 定：承認

⑳研究名：ONO-4538 第Ⅱ相試験 胃がんに対する多施設共同非盲検無作為化試験

・審議内容：治験実施状況報告書（2017/2/16 日付）に基づき、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。

・判 定：承認

㉑研究名：ONO-4538 第Ⅲ相試験 胃がんに対する術後補助化学療法における多施設共同二重盲検無作為化試験

・審議内容：治験実施計画書、説明同意文書、患者報告アウトカムの変更に基づき、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。

・判 定：承認

㉒研究名：小野薬品工業株式会社の依頼による頭頸部がん患者を対象としたニボルマブ及びイピリムマブの第Ⅲ相試験

・審議内容：患者紹介レターを出すことについて、その当性について審議した。

・判 定：承認

㉓研究名：プラチナ製剤抵抗性の再発又は転移性頭頸部扁平上皮がんを対象とした拡大治験

・審議内容：重篤な有害事象に関する報告書（2017/2/20 日付）に基づき、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。

・審議内容：承認

㉔研究名：中外製薬㈱の依頼による HER2 陽性の手術不能又は再発乳癌に対する一次治療としてのペルツズマブ、トラスツズマブ及びドセタキセル併用療法の有効性及び安全性を検討する製造販売後臨床試験

・審議内容：治験実施状況報告書(2017/2/21 日付)の変更に基づき、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。

・判 定：承認

㉕研究名：イマチニブに不応・不耐な根治切除不能・再発消化管間質腫瘍（GIST）患者を対象としたレゴラフェニブ（regorafenib）の第Ⅱ相臨床試験

・審議内容：治験薬概要書の変更に基づき、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。

・判 定：承認

⑳研究名：MSD株の依頼による頭頸部癌患者を対象とした MK-3475 の第Ⅲ相試験

・審議内容：治験実施状況報告書(2017/2/21 日付)の変更にに基づき、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。

・判定：承認

㉑研究名：ノバルティスファーマ株式会社の依頼による乳がん患者を対象とした BYL719(Alpelisib)の第Ⅲ相試験

・審議内容：治験実施計画書、説明同意文書の変更にに基づき、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。

・判定：承認

㉒研究名：MSD株の依頼による切除不能の局所再発又は転移性トリプルネガティブ乳癌の化学療法未治療患者を対象とした MK-3475 及び化学療法併用投与とプラセボ及び化学療法併用投与を比較する二重盲検、無作為化、第Ⅲ相試験(KEYNOTE-355)

・審議内容：ePRO Screen report の変更にに基づき、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。

・判定：承認

㉓研究名：MSD株の依頼による頭頸部扁平上皮癌を対象とした MK-3475 の第Ⅲ相試験

・審議内容：ePRO Screen report の変更にに基づき、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。

・判定：承認

㉔研究名：アストラゼネカ株の依頼による再発性又は転移性頭頸部扁平上皮癌患者を対象とした MEDI4736 単剤療法及び tremelimumab との併用療法を標準治療と比較する第Ⅲ相試験

・審議内容：説明同意文書の変更と間質性肺炎 (ILD) 様の事象に関するレターに基づき、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。

・判定：承認

㉕研究名：アストラゼネカ株の依頼による再発性又は転移性頭頸部扁平上皮癌患者を対象とした MEDI4736 単剤療法及び tremelimumab との併用療法を標準治療と比較する第Ⅲ相試験

・審議内容：添付文書の変更にに基づき、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。

・判定：承認

- ③③研究名：ゼリア新薬工業㈱の依頼による子宮頸癌患者を対象とした Z-100 の第Ⅲ相試験
- ・ 審議内容：治験薬概要書の変更にに基づき、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。
  - ・ 判定：承認
- ③④研究名：ファイザー株式会社の依頼による卵巣癌の第 3 相試験
- ・ 審議内容：治験実施計画書、説明同意文書、参加カードの変更にに基づき、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。
  - ・ 判定：承認
- ③⑤研究名：標準的な一次治療であるプラチナ製剤/タキサン製剤併用化学療法とベバシズマブ（化学療法との併用及び維持療法）による治療を受けた進行(FIGOⅢB-Ⅳ期) 高悪性度漿液性又は類内膜卵巣癌、卵管癌又は腹膜癌患者を対象に olaparib をプラセボと比較するランダム化、二重盲検、第Ⅲ相試験
- ・ 審議内容：治験実施計画書、モニタリング報告、各種手順書の変更にに基づき、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。
  - ・ 判定：承認
- ③⑥研究名：MSD 株式会社の依頼による腎細胞癌を対象とした MK-3475 の第Ⅲ相臨床試験
- ・ 審議内容：ePRO 患者アンケート（日本語訳）の変更にに基づき、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。
  - ・ 判定：承認
- ③⑦研究名：日本イーライリリー㈱の依頼による第 1b/2 相試験
- ・ 審議内容：治験実施状況報告書(2017/2/28 日付) に基づき、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。
  - ・ 判定：承認
- ③⑧研究名：MSD 株式会社の依頼による第 I 相臨床試験
- ・ 審議内容：重篤な有害事象に関する報告書（2017/3/1 日付）に基づき、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。
  - ・ 判定：承認

**【安全性情報】**

安全性に関して 46 試験からそれぞれ情報（報告概要：年次報告 5 件、措置報告 2 件、国内報告 70 件、海外報告 70 件）が提供された。

	全ての試験の実施の継続について特に異議なく、承認された。
報告	<p><b>【迅速審査結果報告】</b></p> <p>前回以降、12件の迅速審査（報告のみを含む。）が行われた。審査内容は、実施体制の変更：7件、治験分担医師・協力者の追加と削除：3件、症例の追加：2件であった。</p>
その他	<p>① 「平成28年度 第11回治験審査委員会開催記録の概要」公表内容について資料が提出され、特に問題ないことが確認された。</p>